

# 矢板北SIC及びその前後の既設IC における利用状況について

令和6年3月19日  
矢板市

# 目次

① 矢板北スマートICの概要	1
② 矢板北スマートIC利用状況	2
③ 矢板北スマートICの整備効果（社会便益）	9
④ 利用促進方策	21
⑤ 安全性・管理・運営形態	25

# 矢板北スマートICの概要

## (1) 設置位置

栃木県矢板市下太田及び長井地内  
東北縦貫自動車道弘前線  
矢板北パーキングエリア併設  
矢板ICから7.4km  
西那須野塩原ICから11.5km

## (2) 計画交通量

2,100台/日

## (3) 供用開始日

令和3年3月28日

## (4) 運用時間

24時間利用可能

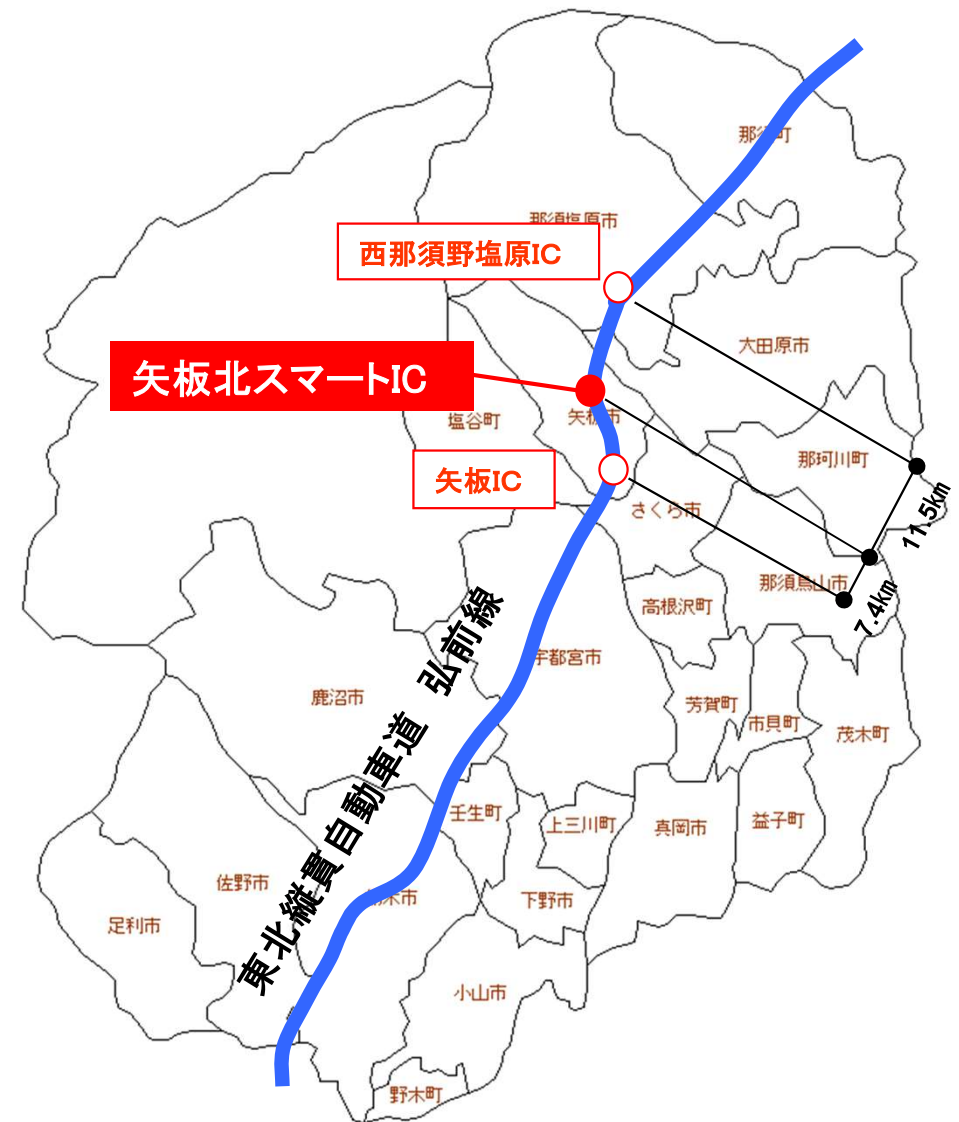
## (5) 利用方向

上下線ともに入出口として利用可能

## (6) 対象車種

ETC車載器搭載の全車種

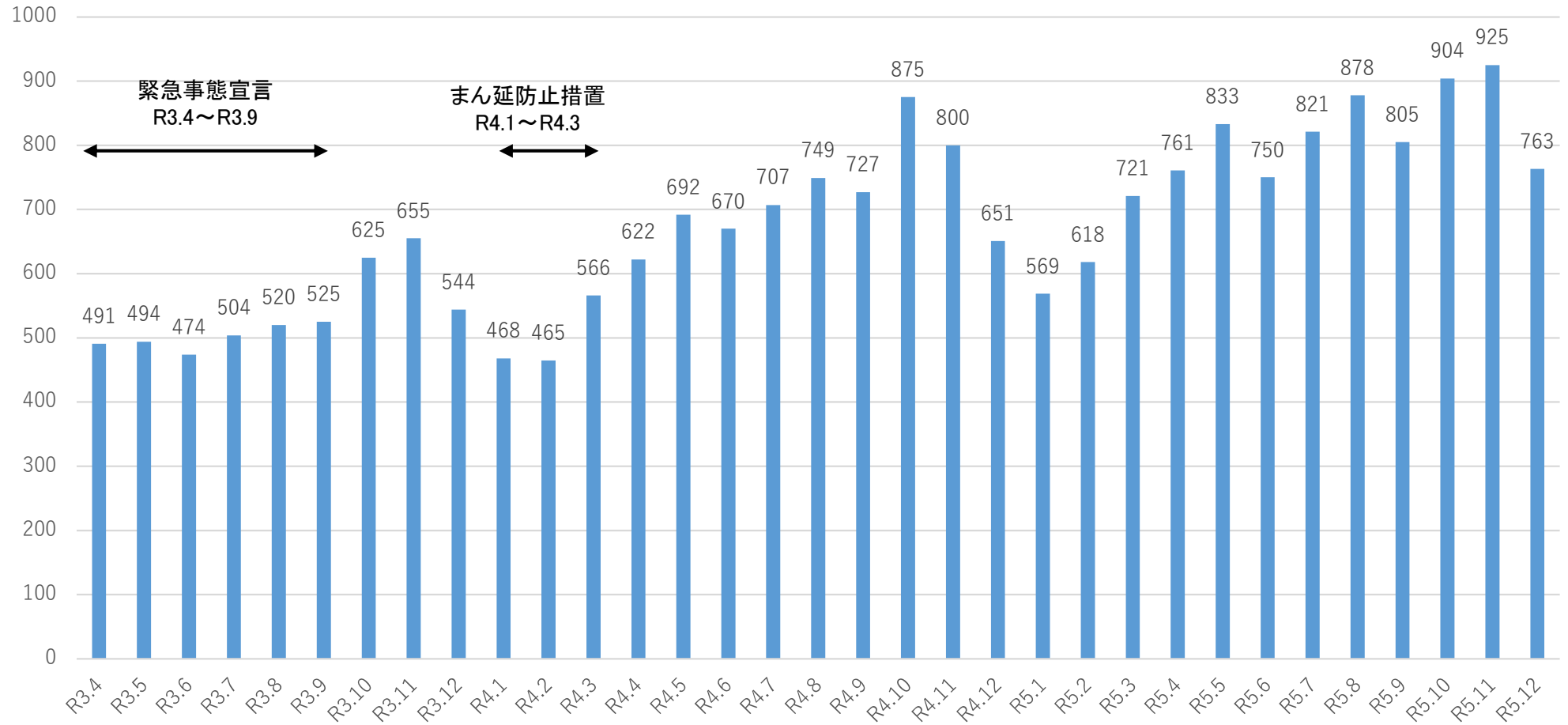
(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車)



# 利用状況について（出入交通量の推移）

2100

計画交通量2,100台



供用後、出入交通量は、計画交通量を下回っているものの緩やかではあるが増加している。

出典：NEXCO東日本



# 利用状況について（前後ICの出入交通量）



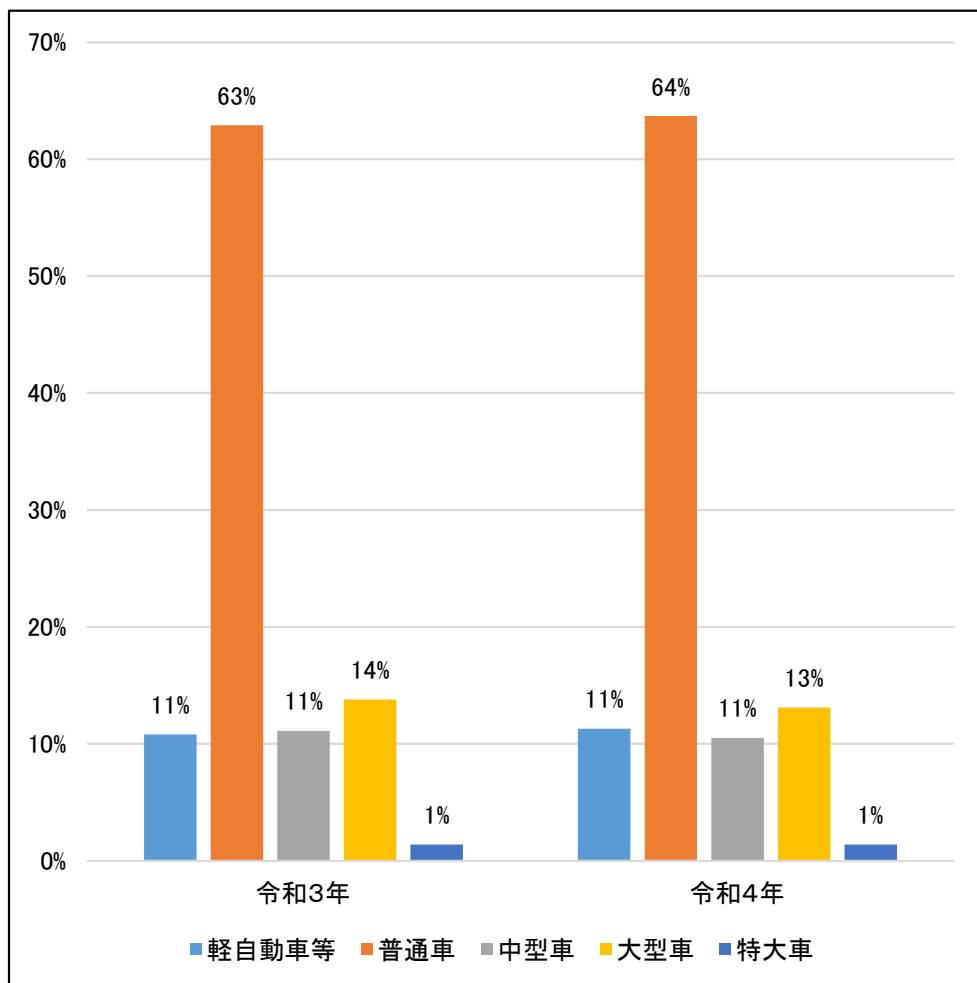
	矢板IC	矢板北SIC	西那須野塩原IC	3 IC合計
整備前（R元年）	10,887	—	6,408	17,295
整備前（R2年）	9,486	—	5,359	14,845
整備後（R3年）	9,681	528	5,431	15,640
整備後（R4年）	10,280	700	6,031	17,011
増減（R元⇒R4）	▲ 607	+700	▲ 377	▲ 284

※R2年の交通量は、新型コロナウイルス感染症に伴う外出規制による影響を鑑み、評価の対象としない。

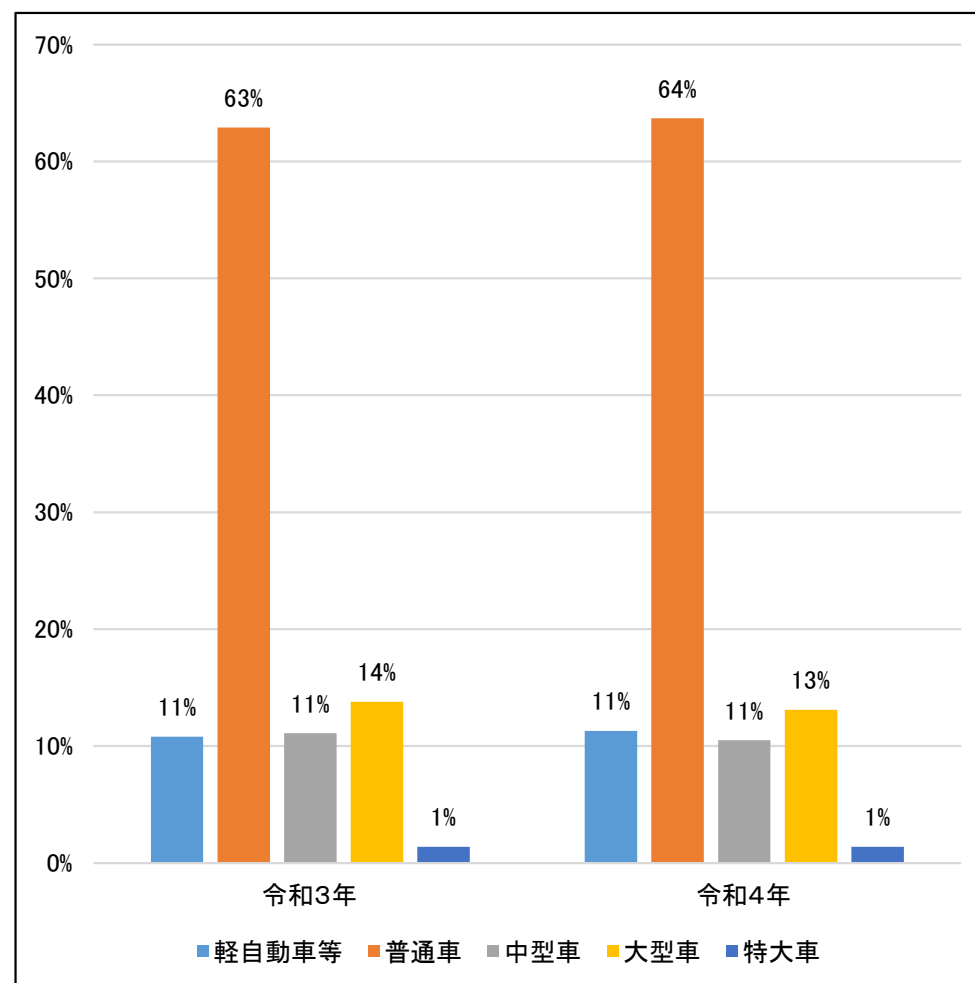
- ・前後ICを含めた出入交通量の合計は、令和2年に落ち込んだものの令和3年以降回復傾向にある。
- ・矢板北スマートIC出入交通量についても令和3年度の整備以後、計画交通量を下回っているものの緩やかではあるが増加している。

# 利用状況について（車種別出入交通割合）

矢板北スマートIC車種別交通割合



東北自動車道車種別交通割合

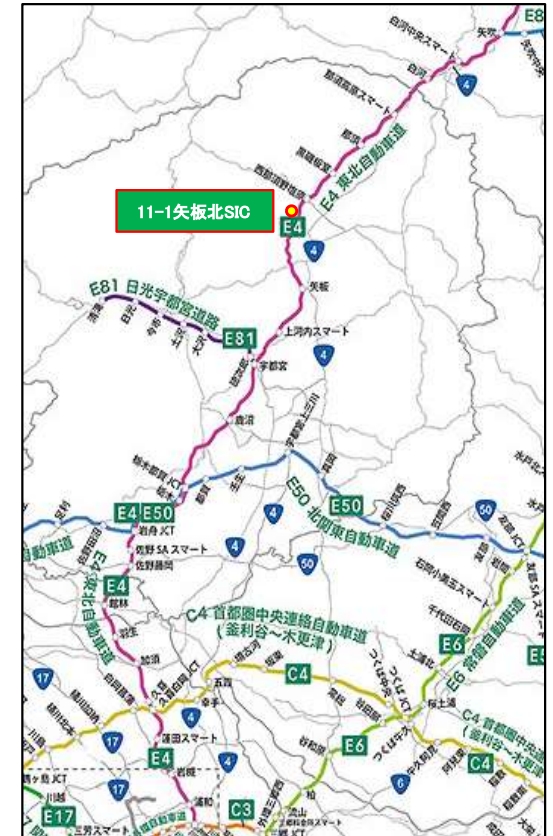
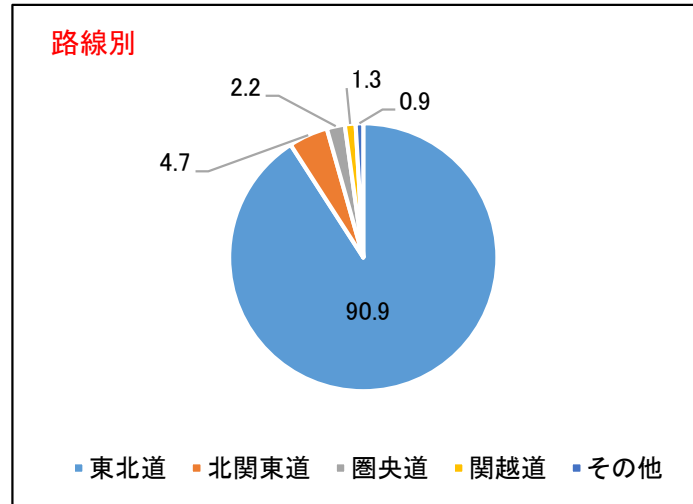
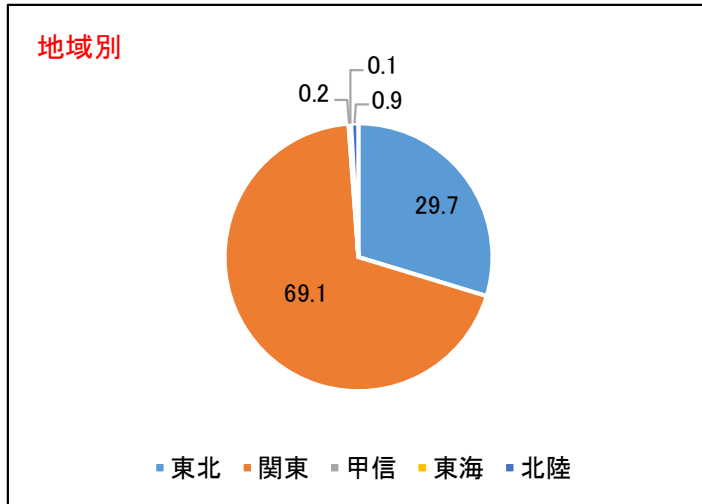


出典：NEXCO東日本データ

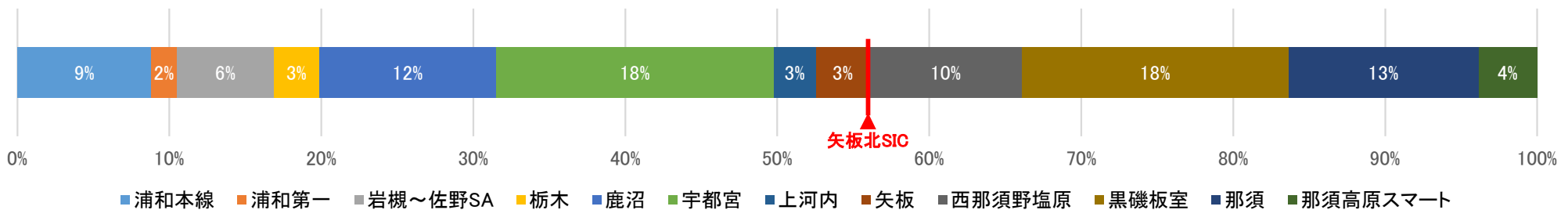
矢板北スマートICは周辺に工業団地等の工場施設が少なく、周囲に観光施設（観光りんご園、ゴルフ場、県民の森、八方ヶ原など）や道の駅等が点在していることから、全体に比べて、普通車の割合が多くなっている。

# 利用状況について (ICペア交通量)

- ・矢板北スマートICを利用しているICペアは、東日本地域で98.8%を占め、内訳として関東地方69.1%、東北地方29.7%となっている。
- ・東北道上位10ICのうち、7ICは鹿沼IC、宇都宮IC、矢板IC、西那須野塩原IC、黒磯板室IC、那須IC、那須高原SICなど栃木県内が多く、ほかに浦和本線IC、白河IC、矢吹ICとなっている。



## 東北道(関東地方内)ICペア【矢板北SIC】

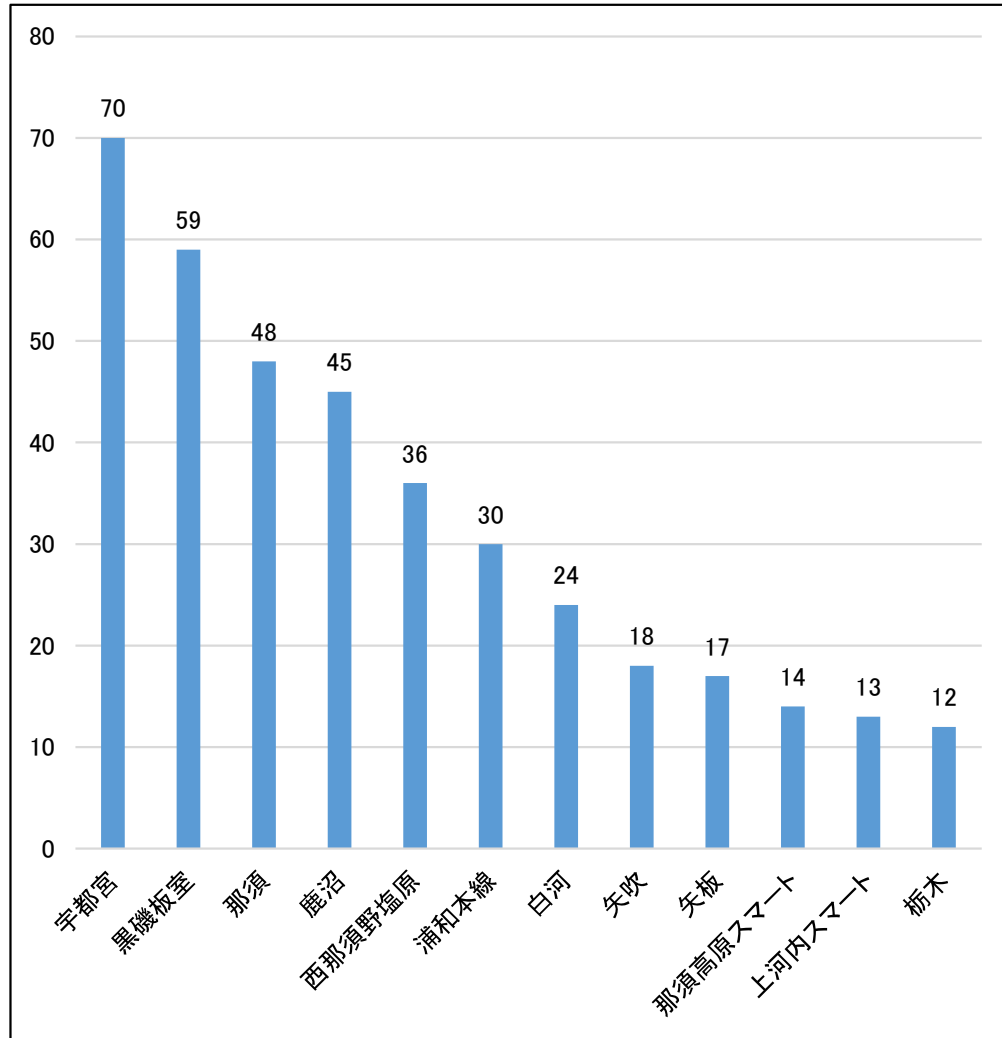


出典: NEXCO東日本データ

# 利用状況について（ICペア交通量）

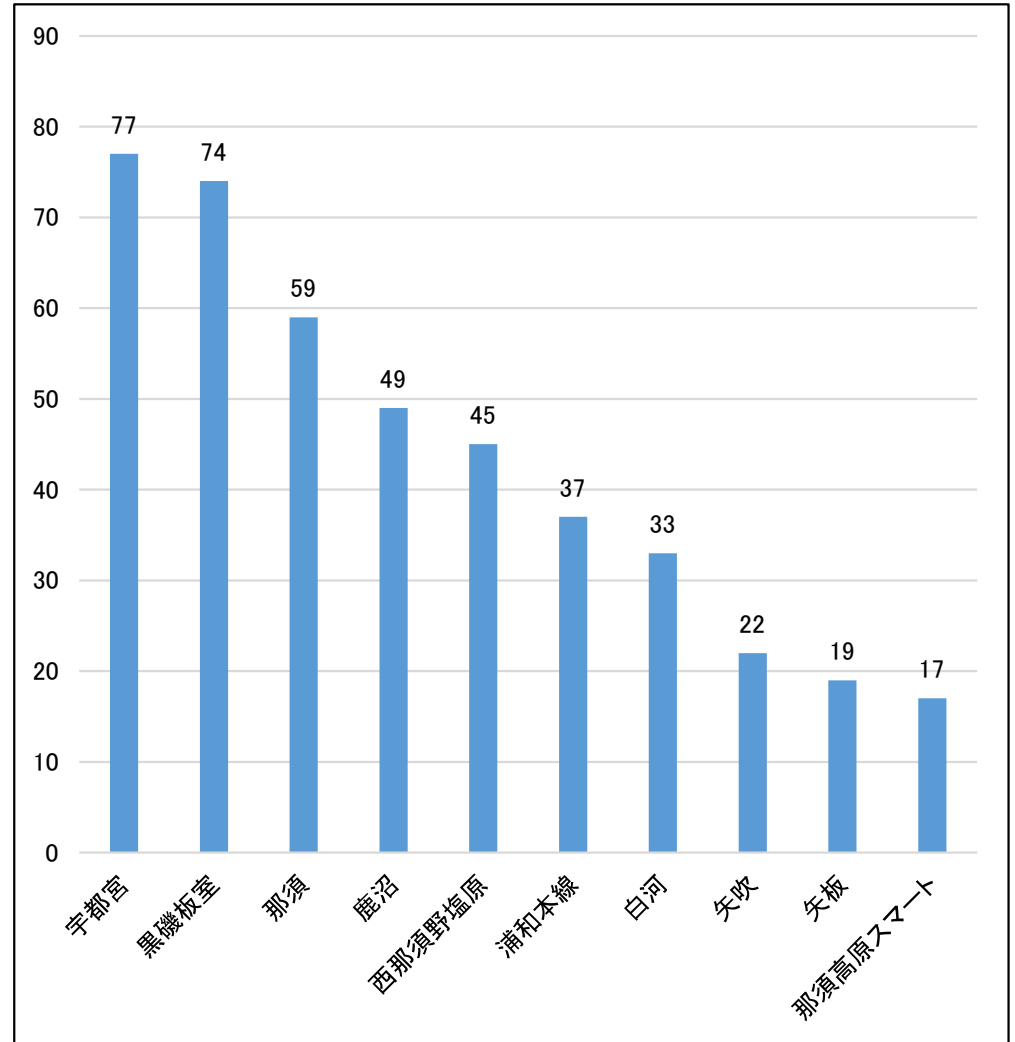
（日平均交通量）

令和3年ICペア交通量上位10IC



（日平均交通量）

令和4年ICペア交通量上位10IC



出典：NEXCO東日本データ

ICペア交通量の上位10IC中7ICが県内であるため、長トリップ（観光等）よりも短トリップ（地元利用等）にて、利用されていると思われる。



# 矢板北SICの出口を通過した車両の到着地の状況（平日）

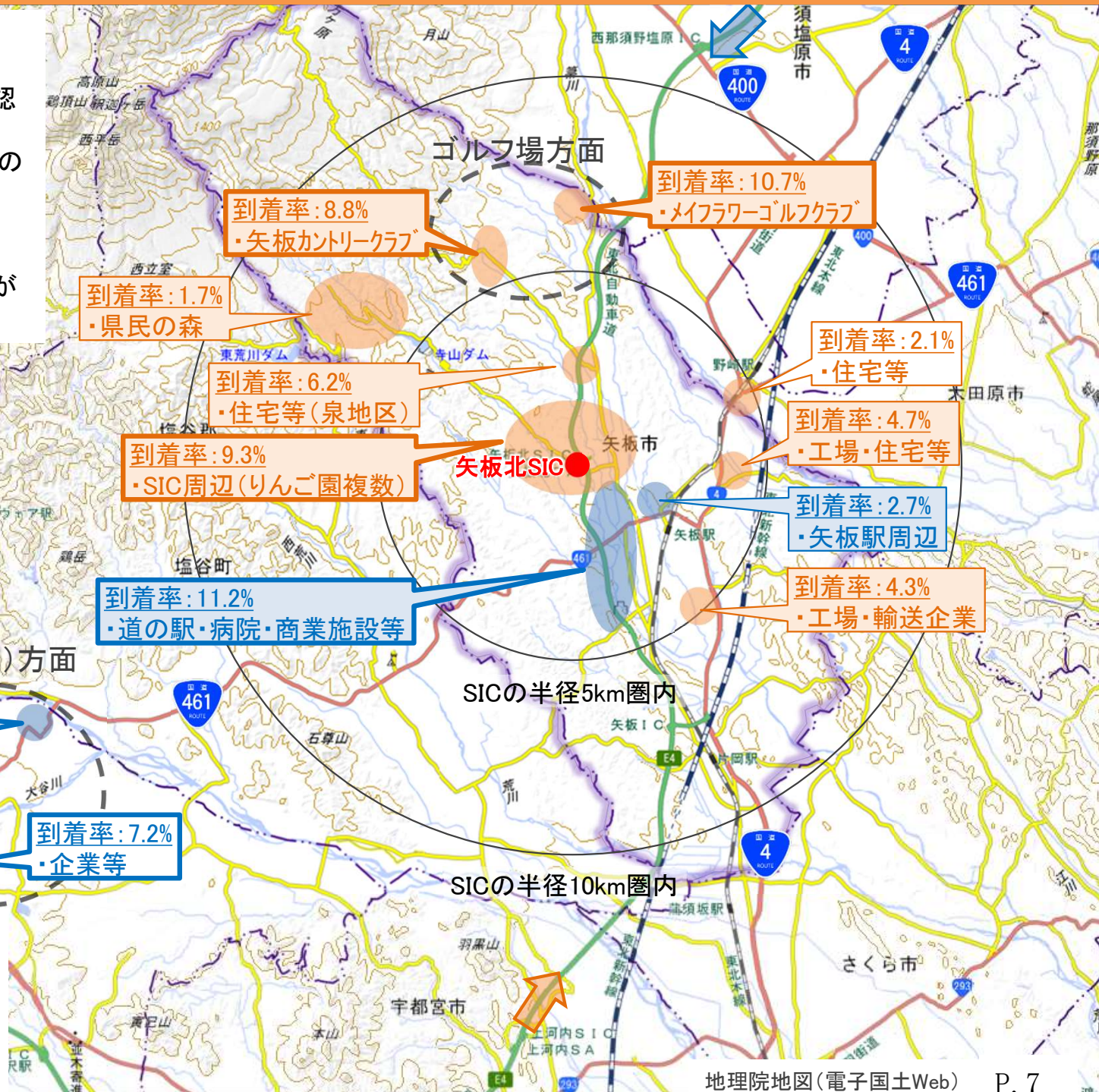
## 【東京方面からの到着地】

- ・到着地はSICの半径10km圏内に集中している
- ・観光関係施設(県民の森・りんご園)への到着が確認されている
- ・ゴルフ場方面(19.5%)、SIC周辺(りんご園)(9.3%)への到着率が高い

## 【福島方面からの到着地】

- ・SICの半径5km圏内の道の駅・病院・商業施設等(11.2%)、日光(旧今市市)方面(14.6%)への到着率が高い

- 東京方面からの到着地
- 福島方面からの到着地



出典：ETC2.0プローブデータ(2022年10月)1ヶ月間・平日  
 サンプル数：東京方面からN=420 福島方面からN=784  
 ※到着率は、各方面からスマートICの出口を通過した車両と、1kmメッシュで到着地を集計した車両より割合を算出  
 ※到着地は、到着率の割合が1%以上かつ観光地や施設等がある箇所をプロットし、その中にある観光地や主な施設等を記載



# 矢板北SICの出口を通過した車両の到着地の状況（休日）

## 【東京方面からの到着地】

- ・到着地はSICの半径10km圏内に集中している
- ・観光関係施設（県民の森・八方ヶ原・りんご園）への到着が確認されている
- ・泉地区（11.7%）、SIC周辺（りんご園）（9.0%）への到着率が高い

## 【福島方面からの到着地】

- ・SICの半径5km圏内の道の駅・病院・商業施設等（17.3%）への到着率が高い

- 東京方面からの到着地
- 福島方面からの到着地



出典：ETC2.0プローブデータ(2022年10月)1ヶ月間・休日

サンプル数：東京方面からN=290 福島方面からN=220

※到着率は、各方面からスマートICの出口を通過した車両と、1kmメッシュで到着地を集計した車両より割合を算出

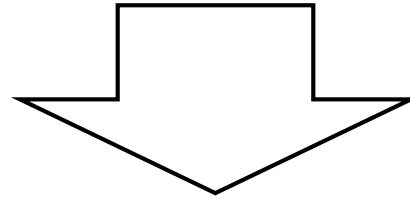
※到着地は、到着率の割合が1%以上かつ観光地や施設等がある箇所をプロットし、その中にある観光地や主な施設等を記載



# 利用状況について

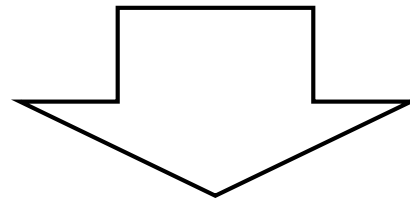
## 1. まとめ

- ・供用後、出入交通量は、計画交通量を下回っている。
- ・前後ICを含めた出入交通量の合計は、令和2年度に落ち込んだものの令和3年度以降回復傾向にある。



## 2. 分析結果

- ・普通車の利用が多い。
- ・平日、休日ともに半径10km圏内の利用が多く、特に道の駅周辺への利用が多い。
- ・関東地方、東北地方といった東日本地域からの利用が多い。



## 3. 今後の対応方針

周辺住民、企業等へ利用状況調査を実施し、利用方針策の検討を行なう。

# 矢板北スマートICの整備により期待される整備効果

## (1) 連携・交流を促す都市形成への寄与

- 高速道路IC利用10分圏域の拡大
- 矢板市中心市街地からICまでの所要時間短縮
- 矢板市北部（泉地区）からICまでの所要時間短縮
- 主要幹線道路の混雑緩和

## (2) 産業振興への寄与

- 農林業振興への寄与
- 観光関連施設への所要時間短縮

## (3) 安全・安心な暮らしを支える都市基盤づくりへの寄与

- 市外の第2次救急医療施設への所要時間短縮
- 指定避難場所への所要時間短縮



# 矢板北スマートICの設置により期待される整備効果（整備効果の検証）

社会便益	内容	具体的な指標	使用データ等	整備効果の検証時期		今年度の 検証時期
				R5.10	次回	
アクセス性の向上	10km圏域の拡大	スマートICから矢板市内 10km圏域の人口	R3センサス使用	○		
	矢板市中心市街地から ICまでの所要時間短縮	所要時間の減少	実走行に基づく所要時間	○	R6.10	10月実施
	矢板市北部地域からICま での所要時間短縮	所要時間の減少	実走行に基づく所要時間	○	R6.10	10月実施
	市外の第2次救急医療施 設への所要時間短縮	所要時間の減少	実走行に基づく所要時間	○	R6.10	10月実施
	指定避難場所への所要 時間短縮	所要時間の減少	実走行に基づく所要時間	○	R6.10	10月実施
	観光関連施設への所要 時間短縮	所要時間の減少	実走行に基づく所要時間	○	R6.10	10月実施
農業振興への寄与	観光客入込数の増加		観光客入込数調査結果	○	R6.10	

# 矢板北スマートICの設置により期待される整備効果 ((1) 連携・交流を促す都市形成への寄与)

## ●高速道路IC利用10分圏域の拡大

- ・高速道路ICからの10分圏域が、中心市街地(JR矢板駅西口)から北部地域(泉地区)や那須塩原市境、塩谷町境にまで拡大した。
- ・東北自動車の利用が容易となり、地域住民の通勤や広域的な移動の利便性が向上した。

高速道路IC利用10分圏域の拡大による交流人口の増加

整備なし	整備あり
57.9千人	約63.5千人 (約5.6千人増加)

※H22センサス混雑時速度を基に算出  
圏域人口はH22国勢調査町丁・字別人口に基づき算出

R4
62.6千人 (4.7千人増加)

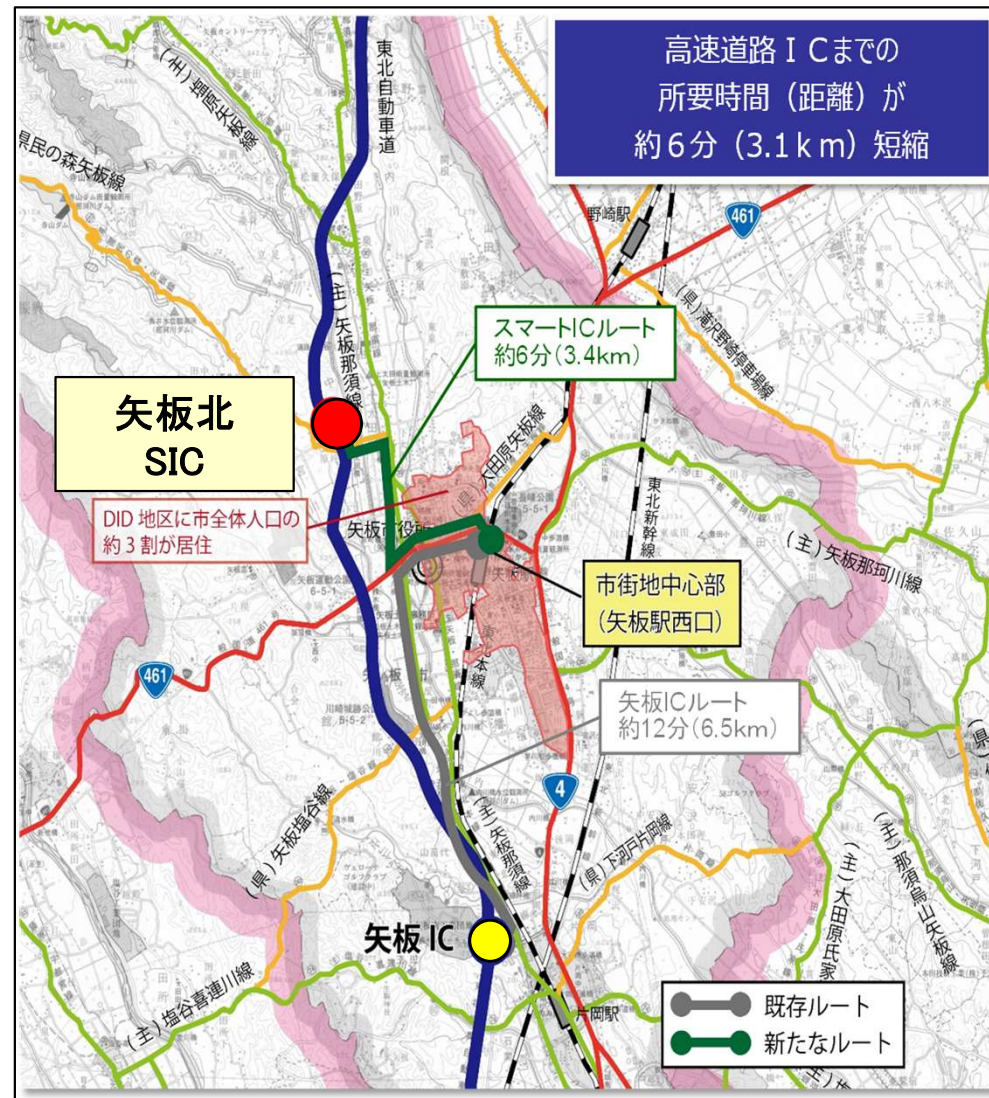
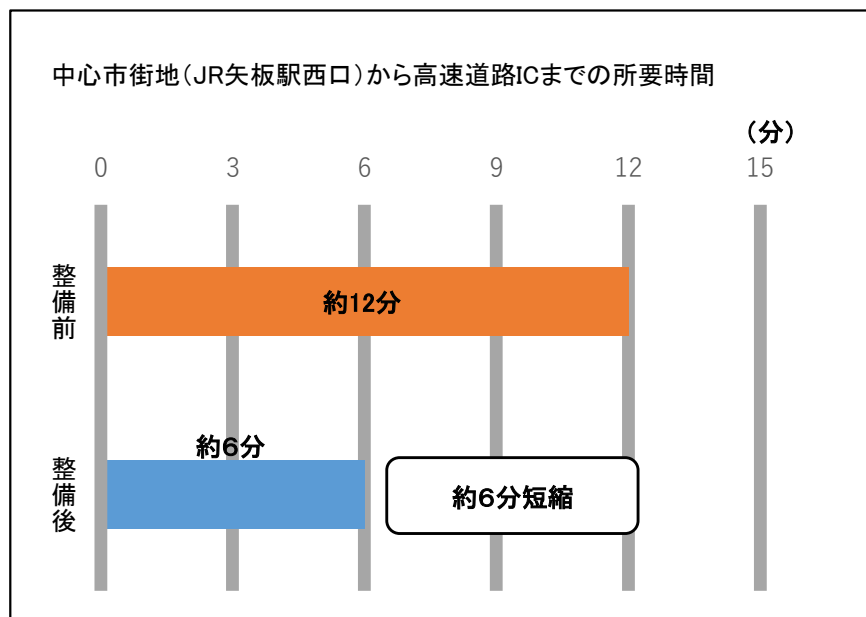
※R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時速度を基に算出  
圏域人口はR2国勢調査町丁・字別人口に基づき算出



# 矢板北スマートICの設置により期待される整備効果（(1)連携・交流を促す都市形成への寄与）

## ●矢板市中心市街地からICまでの所要時間短縮

矢板北スマートICの整備により、中心市街地（JR矢板駅西口）から高速道路ICまでの所要時間が約6分短縮されたことで、地域住民の利便性の向上が図られ、周辺地域や都市との交流が促進した。（令和5年10月午前実走）

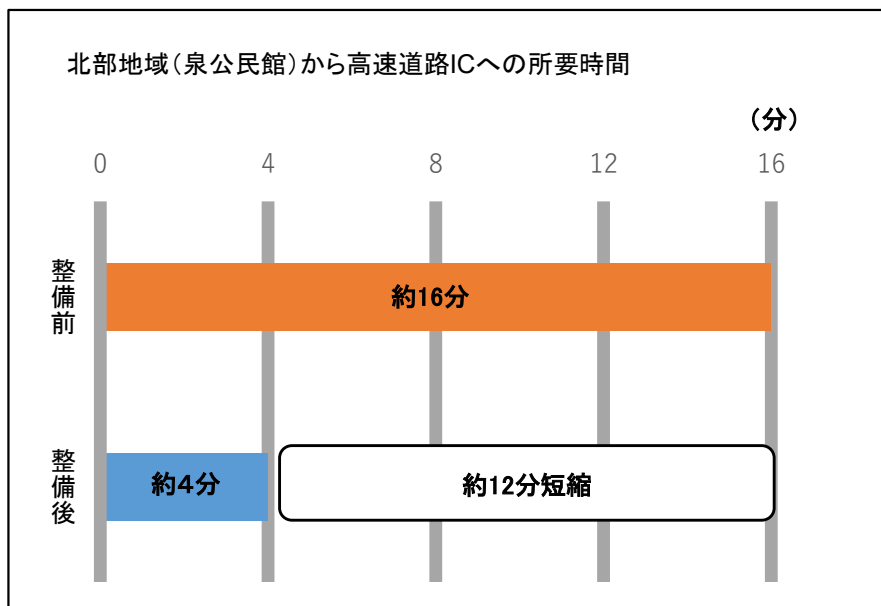




# 矢板北スマートICの設置により期待される整備効果 (1) 連携・交流を促す都市形成への寄与)

## ●矢板市北部(泉地区:地区公民館)からICまでの所要時間短縮

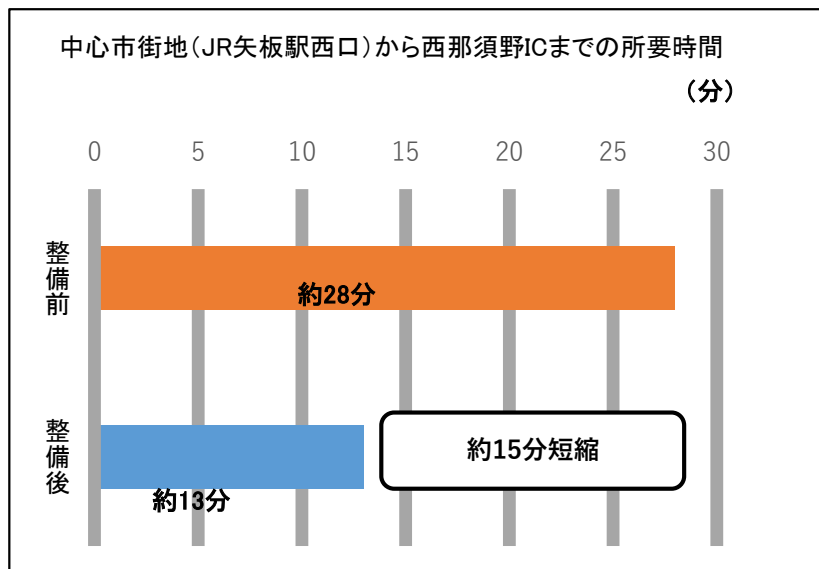
矢板北スマートICの整備により北部地域(泉地区)から高速道路ICまでの所要時間が約9分短縮となったことで、地域住民の利便性の向上が図られ、周辺地域等との交流が促進された。(令和5年10月午前に実走)



# 矢板北スマートICの設置により期待される整備効果 (1) 連携・交流を促す都市形成への寄与)

## ●主要幹線道路の混雑緩和

- ・一般道の渋滞や事故危険箇所を回避し、かつ最短距離で東北道から矢板市の中心市街地へのアクセスが可能となった。  
 県南・首都圏方面からは中心市街地(JR矢板駅西口)まで約2分短縮となった。
- ・県北・東北方面から約15分短縮となったとともに主要渋滞箇所9箇所の渋滞緩和や事故危険箇所回避が図られた。(令和5年10月午前実走)





# 矢板北スマートICの設置により期待される整備効果 (2) 産業振興への寄与

## (2) 矢板市中心部および北部地域の振興

矢板市北部(泉地区)には、観光りんご園、八方ヶ原、山岳観光起点となる山の駅等多くの観光資源が存在し周遊性の向上や移動時間短縮が課題となっていた。

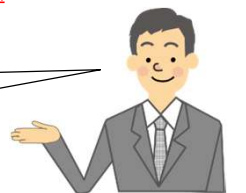
### ●農林業振興への寄与

- ・【道の駅やいた】へのアクセスが向上したことで、来場客数及び売上額は、増加傾向となった。
- ・来場客及び売上金額が増加により、農産物や加工品の売上にも貢献

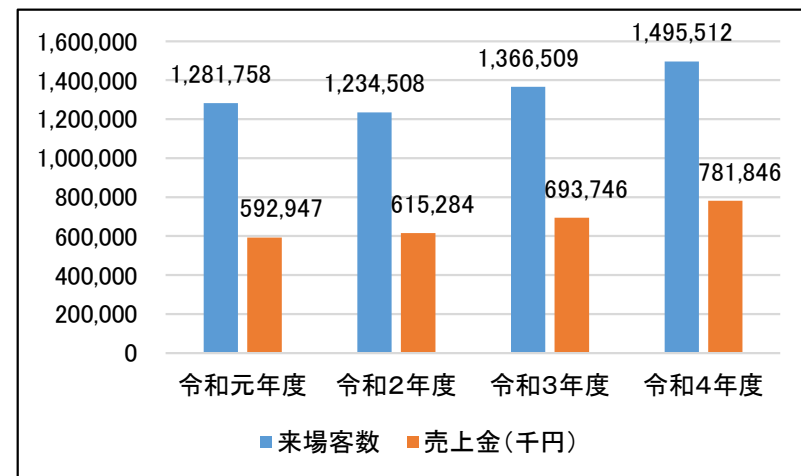


矢板北スマートICのおかげで、コロナ禍でも売上を維持することができた。

矢板北スマートICの整備により、大変便利になったという声をお客様から聞いている。



道の駅やいた 担当者



「道の駅やいた」来場客数及び売上額 出典: 矢板市農林課

### ●観光関連施設への所要時間短縮

- ・泉地区(八方ヶ原、県民の森、山の駅たかはら、観光りんご園等観光施設)へのアクセスが向上し、観光客入込数が整備後増加傾向となり、令和4年度226,814人となった。
- ・本市全体の観光客入込数は、集計開始後過去最大となる205万人となった。



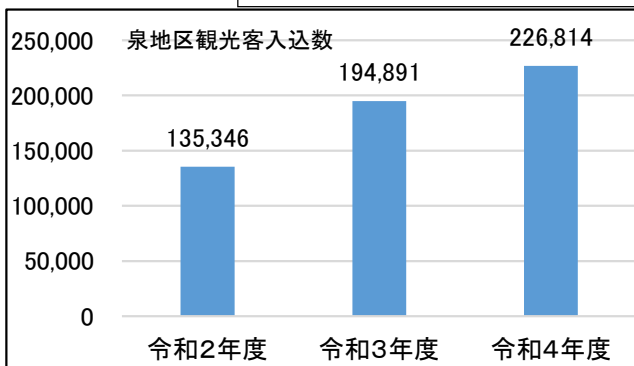
山の駅たかはら

お客様の移動時間の短縮により助かっている。首都圏からのお客様からアクセスが大変よくなったと好評を得ている。

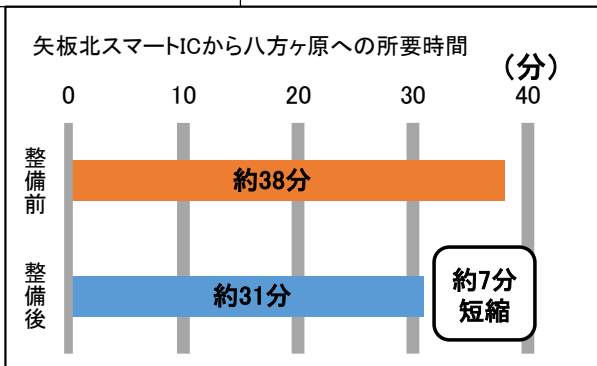
北部地域の八方ヶ原、県民の森、観光りんご園等の施設へのアクセスが向上した。特に上り線で大きく向上した。



ゴルフ場 担当者



出典: 矢板市商工観光課 観光客入込数一覧表



# 矢板北スマートICの設置により期待される整備効果 ((2) 産業振興への寄与)

## ●観光関連施設への所要時間短縮

八方ヶ原



写真:写真:八方ヶ原のつばき  
出典:矢板市HP

山の駅たかはら



写真:山の駅たかはら  
出典:山の駅たかはらHP

県民の森

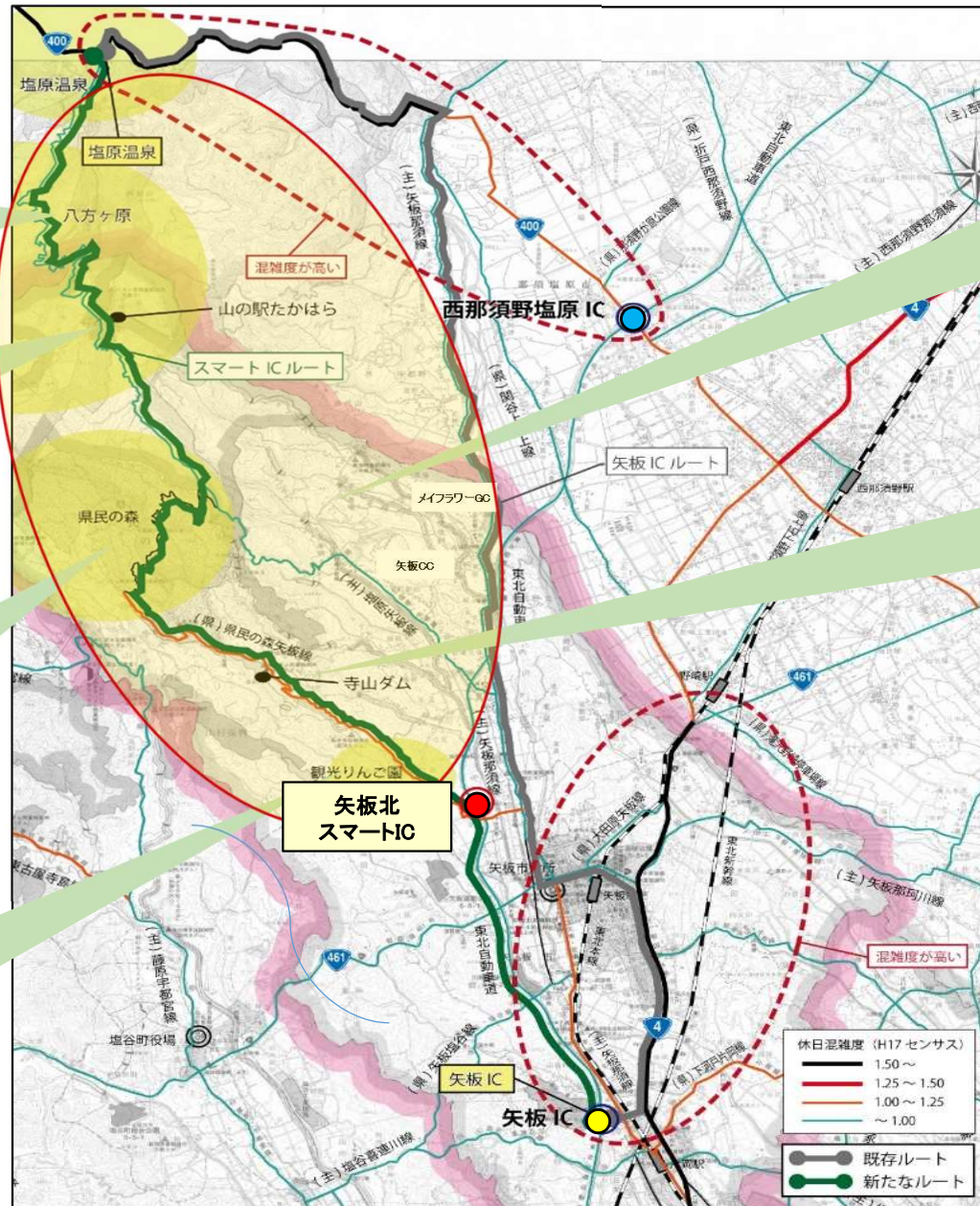


写真:県民の森  
出典:県民の森HP

観光りんご園



写真:りんご狩りの風景  
出典:矢板市HP



山縣有朋記念館



寺山観音寺



○ 泉地区

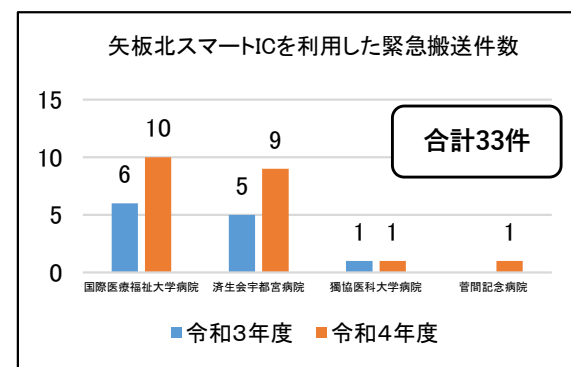
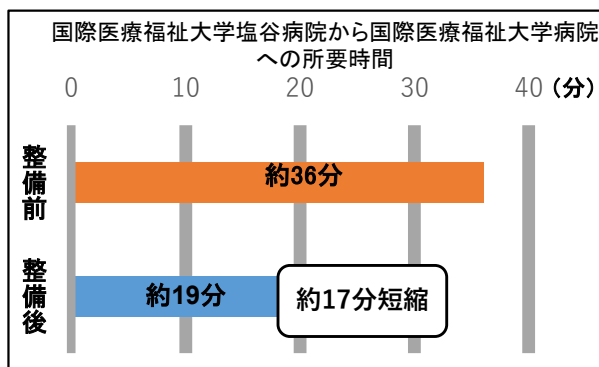


# 矢板北スマートICの設置により期待される整備効果 (3) 安心安全な暮らしを支える都市基盤づくりへの寄与

## ●市外の第2次救急医療施設への所要時間短縮



- ・救急搬送の際にスマートICから高速道路を活用することができ、拠点病院間の輸送時間は3分の2に短縮され、救急救命活動の支援に寄与している。  
(約36分→約19分)
- ※国際医療福祉大学塩谷病院(矢板市内)を起点として、那須塩原市の国際医療福祉大学病院までの所要時間を算出
- ・矢板北スマートICを利用した緊急車両搬送件数は、R4年度末までに33件となり、地元消防署職員からも迅速で確実な救急救命活動に大きく貢献しているという声をいただいている。



出典: 矢板消防署



矢板消防署

- ・高速道路上の災害における初期対応までの時間がかなり短縮された。
- ・救急搬送に伴う搬送ルートを選択肢が増え、傷病者の苦痛軽減が図られた。
- ・隣接市町への救急搬送においても搬送ルートを選択肢が増え、病院到着までの時間が短縮できた。
- ・整備された高速道路を走行することによる傷病者への振動の軽減や信号機が設置されていないことによる停止・発進、右左折時の揺れに対する苦痛軽減が図られた。

### 救急搬送利用台数 (R5.4.1~R6.1.30)

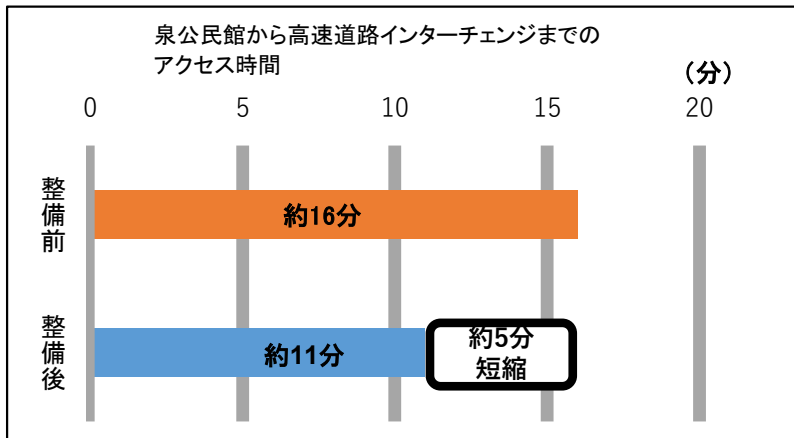
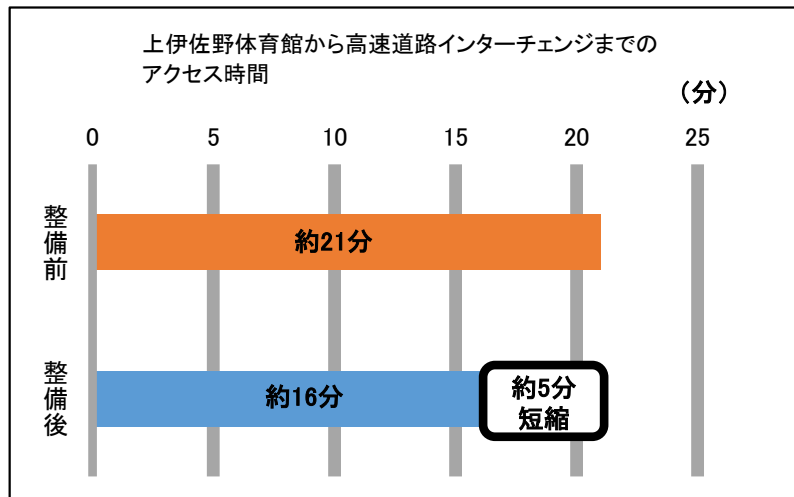
矢板北スマートIC⇒宇都宮IC	救急自動車3台
矢板北スマートIC⇒西那須野IC	救急自動車12台、消防自動車7台
矢板北スマートIC⇒黒磯板室IC	救急自動車2台
矢板IC⇒矢板北スマートIC	救急自動車5台、消防自動車9台
西那須野IC⇒矢板北スマートIC	救急自動車2台、消防自動車7台

出典: 矢板消防署



● 指定避難所への所要時間短縮

矢板北スマートICの整備により高速道路から指定避難場所へのアクセスが向上し、指定緊急避難場所までのアクセスが短縮され、緊急物資輸送の迅速化及び効率化が図られた。(令和5年10月午後実走)



# 利用促進方策等について

## ・現在の取組状況

### 市HP更新

2023/08/08 11:52 矢板北スマートインターチェンジが開通しました - 栃木県矢板市公式ウェブサイト

現在地 [トップページ](#) > [分類できがす](#) > [くらし・手続き](#) > [道路・河川・交通](#) > [道路・河川](#) > 矢板北スマートインターチェンジが開通しました

### 矢板北スマートインターチェンジが開通しました

[通常ページへ戻る](#) 更新日：2023年4月3日更新

#### 矢板北スマートインターチェンジが開通しました

矢板市および東日本高速道路株式会社（以下「ネクス車日本」） 関東支社（さいたま市大宮区）が整備を進めてきました東北自動車道（以下「東北道」） 矢板北スマートインターチェンジ（以下「スマートIC」）が、令和3年3月28日（日曜日）に開通しました。

矢板北スマートICは、ETC車載器を搭載したすべての車種が利用することができます。



#### 矢板北スマートICの概要

- ・設置箇所 位置：東北道 矢板北パーキングエリア（上下線）に接続  
所在地：栃木県矢板市下太田および長井地内
- ・運用時間 24時間利用可能
- ・利用形態 一旦停止型
- ・対象車種 ETC車載器を搭載した全車種

#### 位置図



地理院地図（国土地理院（<https://maps.gsi.go.jp/>）をもとに、東日本高速道路株式会社が加工

<https://www.city.yaita.tochigi.jp/soshiki/kensetu/kaitubikettei20210328.html>

2023/08/08 11:52 矢板北スマートインターチェンジが開通しました - 栃木県矢板市公式ウェブサイト

#### 完成イメージ・完成写真



#### 期待される整備効果

#### 産業・観光振興

矢板市北部（京）地区にある八方ヶ原、泉民の森、観光りんご園等観光施設へのアクセスが向上し、また、隣接する那須塩原市、大田原市、那須町と共同で日本遺産に登録された「明治期の華族農場を中心とする那須野が原開拓の歴史」や塩原温泉等との周遊観光ルートを構築することで観光業の振興が期待されます。

#### 安全・安心な暮らしを支える都市基礎づくり

一般道の渋滞や事故危険箇所を回避して、最短距離で矢板市内中心部へのアクセスできるとともに市外の第2次救急医療施設への搬送時間が短縮され、安心して暮らせる生活環境の向上が期待されます。

また、高速道路から指定避難場所へのアクセスが向上し、緊急物資輸送の迅速化・効率化が期待されます。

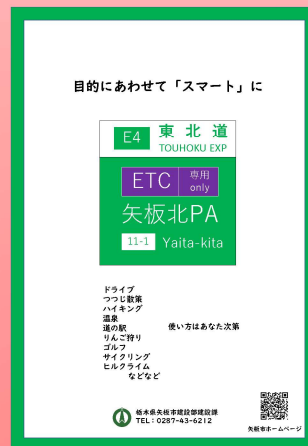
<https://www.city.yaita.tochigi.jp/soshiki/kensetu/kaitubikettei20210328.html>



# 利用促進方策等について

## ・現在の取組状況

### 情報誌の作成(HAPPYHAPPO)、庁内関係、関係機関への依頼①



・ポスターを作製し、市役所本庁舎、保健福祉センター、生涯学習館等施設への掲示を行った。

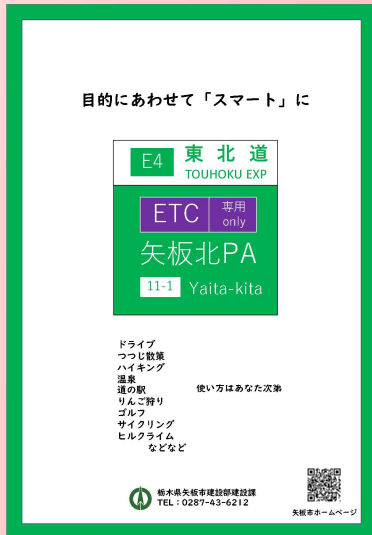
・矢板市観光協会長宛てポスター掲示、ホームページへの矢板北SIC情報追加、パンフレット・チラシ等印刷物への記載依頼を行った。(令和5年7月)



# 利用促進方策等について

## ・現在の取り組み状況

### 関係機関への依頼②、PR



- ・道の駅やいた、塩谷町役場、道の駅湧水の郷しおや、道の駅那須野与一の郷にポスター掲示依頼を行った。
- ・本市北部(泉地区)の観光施設と塩原温泉との周遊観光ルート構築に向けて塩原温泉観光協会にポスター掲示、ホームページへの矢板北SIC情報追加、パンフレット・チラシ等印刷物への記載依頼を行った。  
(令和5年7月)



道の駅湧水の郷しおや



道の駅やいた



矢板北PA(下り線)エリア内において、市長及び商工観光課による観光PR及びSIC普及活動を実施し、あわせて、配布する観光パンフレットの中にチラシ(A5版)を同封した。配布数200部。  
(令和5年9月23日)



# 利用促進方策等について

## ・現在の取り組み状況

### 産業振興



平成29年3月に「スマートIC周辺産業団地導入調査」を実施。矢板北SIC整備後における将来的な用地需要へ対応するため、以下の検討を行った。

- ・本市の地理的条件や社会的条件の整理
- ・全国及び県内工場立地動向調査
- ・本市の立地環境に対する評価と課題(立地環境に対する評価、事業所立地の可能性、用地需要の試算)の検討
- ・候補地の選定
- ・企業立地促進に向けた支援施策の検討

分譲面積:約11ha、団地面積:約14ha、事業費:約11億円+用地代(いずれも概算)



矢板南産業団地の全区画完売(令和5年5月)を受け、新たな産業用地の確保に向けた意見交換会を南部地域において実施。(令和5年11月)



新たな産業用地の確保に向けた意見交換会を泉地区(北部地域)においても実施。(令和5年12月)





# 利用促進方策等について

## ・今後の取組

2. 本市は、スポーツツーリズムによる利用者呼び込みことで交流人口増加への取組を行ってきた。

令和6年4月から、スポーツツーリズム連携室を新設し、スポーツツーリズムの拠点となる宿泊等を設置した城の湯温泉センターと文化スポーツ複合施設などとの連携にあたることとした。

また、地域活性化企業人制度を活用し、城の湯温泉センターを滞在型スポーツツーリズムの一大拠点とするため、宿泊棟を設置した城の湯温泉センターや矢板スポーツコミッションなどと連携し、合宿誘致のための企画立案やプロモーションの強化に取り組むことで更なる利用者の呼び込みにつなげていく。

城の湯温泉センター



文化スポーツ複合施設



地理院地図(国土地理院)(<https://maps.gsi.go.jp/>)をもとに、矢板市が加工

# 利用促進方策等について

## ・今後の取組

3. 令和5年2月に本市における道路網の在り方について、栃木県と協働で「矢板市における道路網研究会」を設置し、第1回研究会を開催、本年2月に第2回研究会を開催し、研究を重ねてきた。

引き続き、矢板北スマートICの更なる利活用を含めた市内の将来道路網の在り方について研究を行っていく。

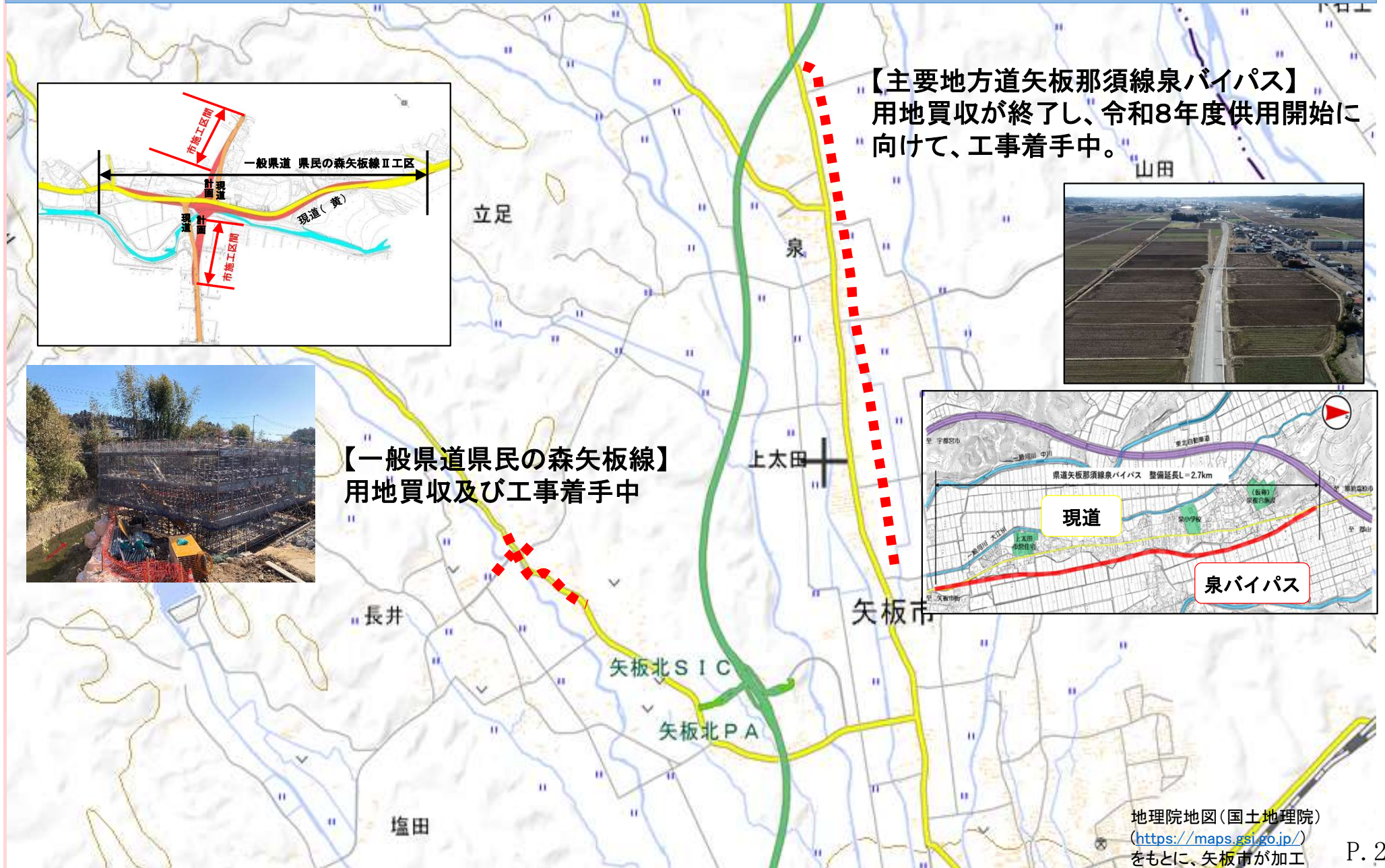
本年2月13日第2回研究会開催時





# 利用促進方策等について

## ・アクセス道路の整備





# 安全性・管理・運営形態

矢板SICを利用するための誘導標識

標識設置計画は本市の地区協議会委員である栃木県警察本部・交通規制課、高速道路交通警察隊、矢板警察署長等にも了解いただいている状況等から安全対策は十分に諮られていると考えている。

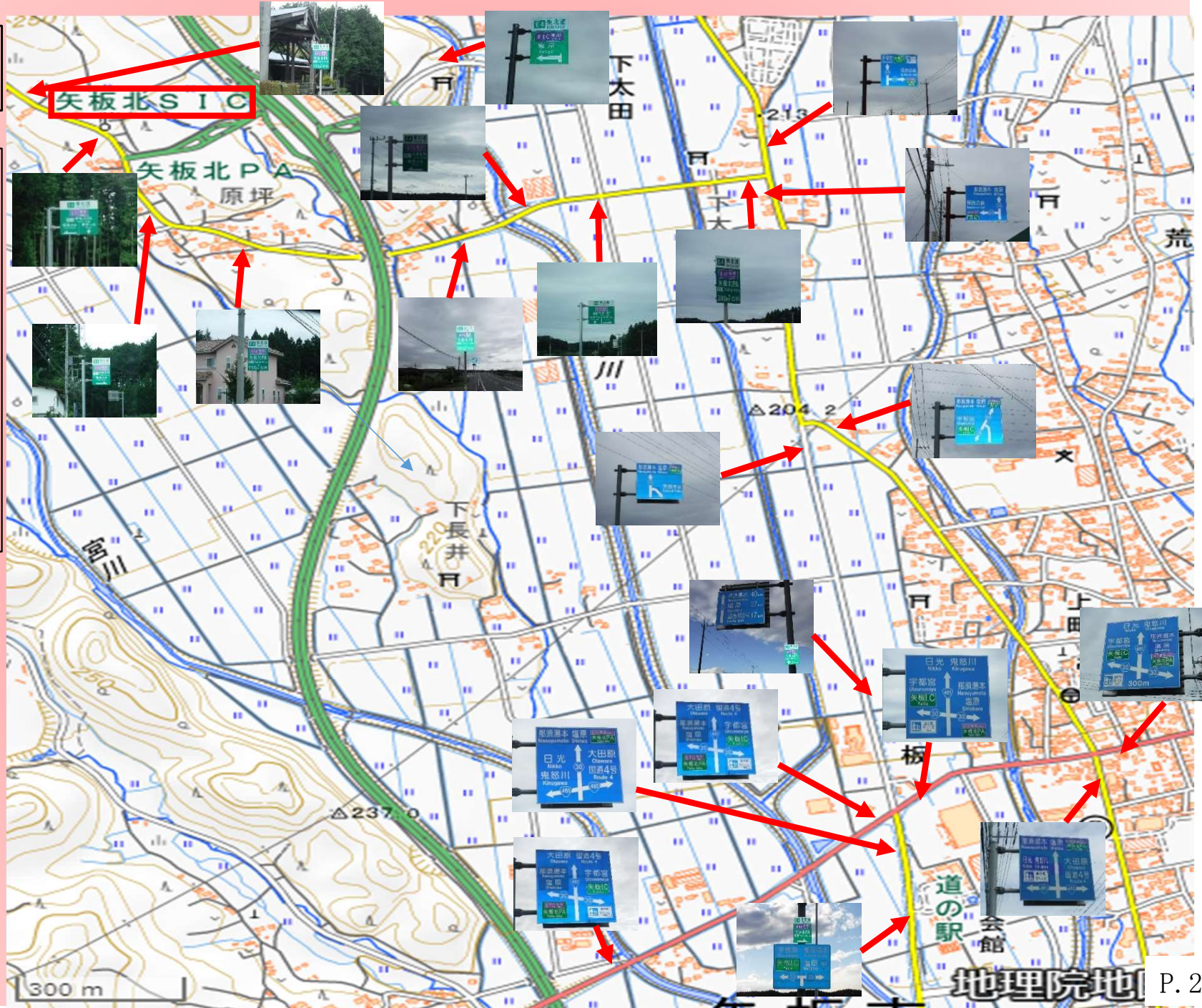
市街地案内標識を認識できないといった声はない。

事故発生件数  
(主要地方道矢板那須線)

令和元年	11件
令和2年	12件
令和3年	14件
令和4年	9件
令和5年	13件

出典: 矢板警察署

地理院地図(国土地理院)  
(<https://maps.gsi.go.jp/>)  
をもとに、矢板市が加工

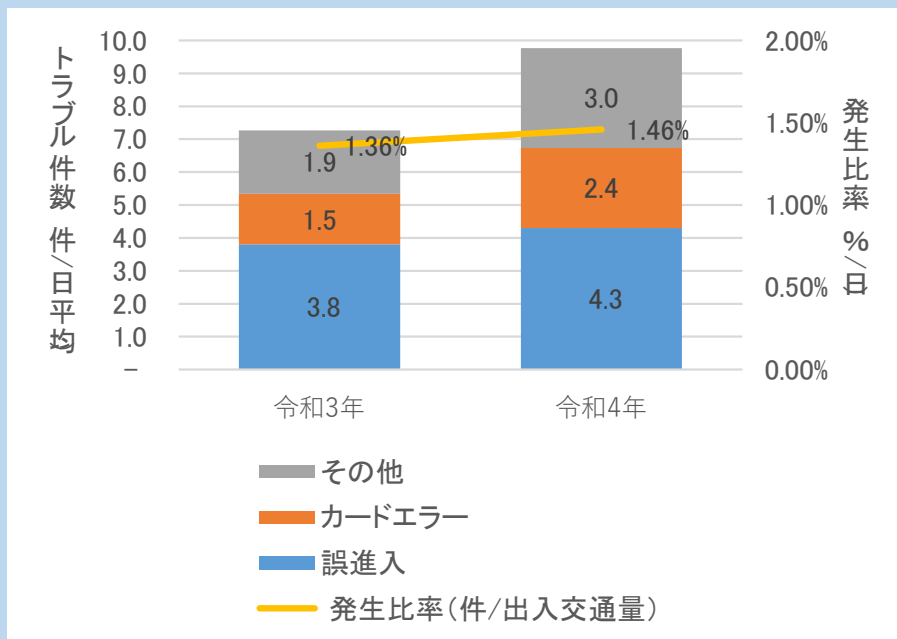


## ○管理・運営形態

IC名	方向	時間	対象車種	監視体制
矢板北スマートIC	上下線両方向	24時間	全車種	遠隔監視

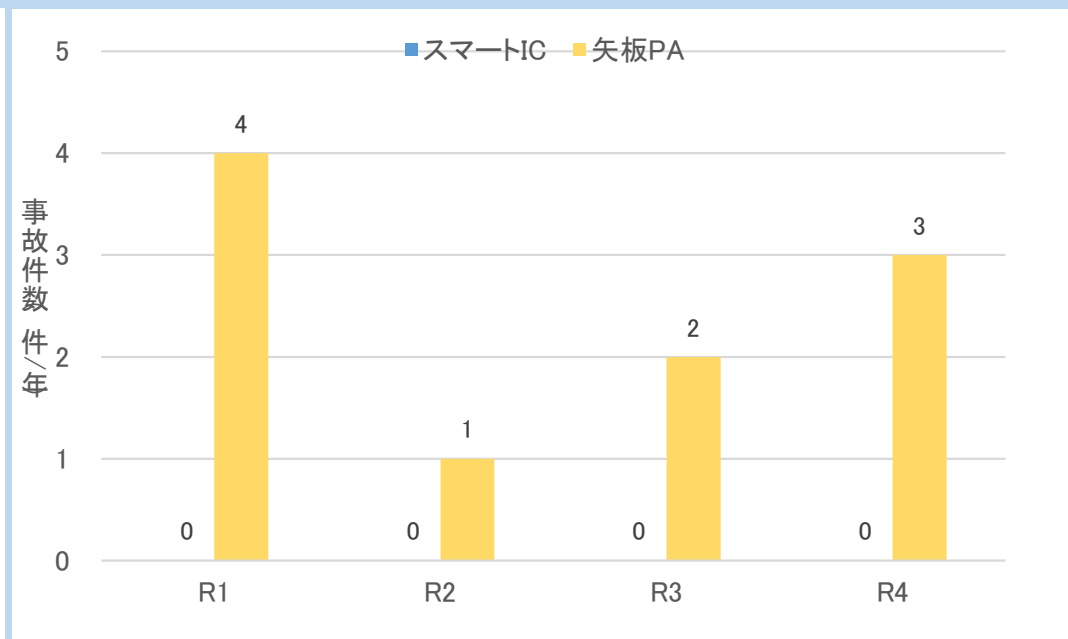
・令和3年3月開通、矢板ICから遠隔監視を開始

## ○トラブル件数の推移



・発生率はほぼ横ばいの状態となっており増加傾向はみられない。

## ○SIC・接続PA内での事故件数



・SICにおける事故は供用後発生していない。

出典：NEXCO東日本